



CLOSE UP VOICE

マルシメ 株式会社
代表取締役社長 大熊 康丈 さん

総合的エネルギーソリューションで 脱炭素・超高齢化社会に挑む

地球規模で脱炭素化が加速し、とりわけエネルギー業界は大きな転換期を迎えている。東三河の老舗石油関連企業のマルシメ株式会社は、岐路をチャンスに変えるべく、社会問題解決型事業をビジョンに掲げ、EV事業へ参入するなど、戦略的に領域拡大を図る。脱炭素化・超高齢化といった社会課題に果敢に挑みながら、持続可能な地域社会の形成を目指す新たなソリューションと今後の展望を伺った。

脱炭素時代を見据え、
モビリティ事業に進出

——貴社の事業内容を教えてください。

大熊 ▼マルシメ株式会社は、1910年に「丸ヶ鈴木傳治商店」として創業して以来、東三河・遠州地域において石油製品の供給を生業とし、地域とともに成長の歩みを進め、地域経済の活性化に貢献してきました。現在は、農業・工業向けの燃料・潤滑油の販売やLPガスの

果、現在のような複合的な事業展開に至ったものです。これらの取り組みを通じて、我々は、当地域におけるエネルギーと住環境のサプライチェーンを担っていると自負しております。

——貴社の経営理念を教えてください。

大熊 ▼私が社長に就任した2年前、新たなミッションとして「持続可能な三河・遠州のために、老舗の知恵を提供し続ける」を掲げ、「温故知新の精神で、社会問題解決型事業を永续する」をビジョンとしました。当社は110余年の業歴に基づく老舗の経験やノウハウを活かし、これらのミッション・ビジョンの下、幅広い事業領域で新しい価値を提供し続けることを目指しています。

今後は、サービスステーションにおける燃料販売や自動車整備の域に留まらず、「移動手段」の領域にも進出し、さらにLPガスの供給や関連機器の販売設置を含む「住環境」に焦点を当て、各業界が抱える課題解決に向けた取り組みを積極的に推進していきたいと考えています。

——貴社として問題視している社会課題を教えてください。

大熊 ▼世界全体で脱炭素社会への移行が進み、あらゆる分野で急速な

変化が起こっています。とくに自動車業界では、脱炭素シフトを含む「100年に一度の大変革期」を迎えており、新勢力を加えた各メーカーがCO2排出量削減を実現する技術の開発を競っています。

このように環境負荷の低い移動手段やエネルギーの供給が必要とされる一方で、私たちの住む地域に向けて移動手段の脆弱性が顕在化し、安全かつ利便性の高い解決策が求められています。とくに移動手段確保は、今後もあらゆる地域で社会問題となり、脱炭素化に加え、人口減による担い手不足や高齢者の免許返納、地方財政の逼迫化などが複雑に絡み合い、さらに深刻化していくと考えます。

——こうした課題に対して、どのような取り組みを進めていますか。

大熊 ▼当社では解決の一手として、「乗るもの、乗りかた、自由自在」を事業方針としたモビリティ事業の強化を図りました。移動手段の多様化に対応して、「一人一台の乗用車」の社会から「一家に一台の小型EVとカーシェアの併用」や「公共交通機関とパーソナルモビリティのハイブリッド活用」といった、新たなモビリティ社会実現への意識改革を目指しています。

INTERVIEW



マルシメ 株式会社
豊橋市下五井町字沖田161-1
0532-53-4711

具体的には、HWELECTRO株式会社の販売店として、本年4月よりEVシヨールームを本社敷地内に構え、農業や運送業に最適な商用EV軽トラック「ELEMOMO（エレモ）」を常設展示し、販売を開始いたしました。さらに、浜松市に本社を構える株式会社サインクリエイトが手がける高齢者向けの1人乗り用原動機付きミニEV「NINA（ニーナ）」も販売しています。NINAは、自宅の家庭用コンセントから充電可能なため、山間部などで起きているガソリンスタンド不足の影響がありません。また、法律上は普通免許で運転が可能であり、車検や車庫証明の必要もなく、自動車保険はバイク並みの取り扱いとなり、最高速度は60km/h程度と利便性が高く、安全性も確保されています。小回りも効くため、日常生活圏内における車に代わる移動手段としての期待も高く、高齢化・過疎化が進む地域での活躍が見込まれます。また災害時の停電を想定した給電機能も付与可能で、非常用電源としても活用できます。

さらに、指定工場の資格を有するグループ会社を通じて、EV関連のアフターマーケットにも対応することができ、これらのグループ会社と連携することで、地域内でのワンストップサービスを実現させるべく、EV時代に向けた準備を着々と進めています。

——社長就任以来、注力した社内改革などありますか。

大熊▼少子化による人材不足は当社も例外ではないため、「人財第一主義」の考えのもと、育成と職場環

——モビリティ事業での新たな展開を教えてください。

大熊▼EV車のほか、電動キックボードやドローンといった様々なモビリティが急速に普及しつつあることから、アフターケア需要が高まっていることを感じています。当社では長年培ってきた、高度なメンテナンス技術を活かし、電動モビリティ事業への参入を通じて、さらに技術の幅を広げ、多岐にわたる領域の機種に対応していきたいと考えています。

また、先程申し上げたEV車だけではなく、電動キックボードや電動アシスト自転車も取り扱っており、普及促進を期待し、本年4月に豊橋市へ5台の電動キックボードを寄贈し、各種イベントやのんぼいパークで活用いただいております。

少子高齢化対策や環境配慮の環境で始めた次世代型モビリティ事業を通じて、地域や観光地における移動利便性の向上や、既存の公共交通機関の利用促進に貢献したいと願っており、鉄道の駅や道の駅などで電動キックボードや電動アシスト自転車などのシェアリングを実施し、新たな地域交通サービスとして提供したいと考えています。

この電動モビリティのシェアリン

——貴社が描く将来のビジョンを教えてください。

大熊▼社会問題解決型事業をさらに推し進め、皆様から信頼される企業として地域とともに成長していきたいと思っています。

また、老舗企業の持ち味を活かしつつ、時代の流れを見極めた柔軟な対応で、迫る脱炭素社会、超高齢化社会を乗り越え、持続的にお客様に貢献するソリューションを提供していきます。

社会問題解決型事業を推進し、地域とともに成長

INDUSTRIAL PRODUCTS

NEW MOBILITY LIFE

- BLAZE EV SCOOTER** 軽便付免許・最高速度30km/h・折り畳み可能 持ち運び楽々
- BLAZE NEXT CRUISER** 大人のEVミニカー 軽便付免許 最大速度50km/h
- BLAZE SMART EV** 軽便付免許・最高速度50km/h・折り畳み可能な電動バイク
- BLAZE KICKBOARD EV LITE** 免許不要・対象年齢16歳以上・立ち乗りタイプ
- BLAZE KICKBOARD EV BASIC** 免許不要・対象年齢16歳以上・最高速度20km/h
- MTM Rise** 免許不要・対象年齢16歳以上・持ち運べるSUVタイプ
- BLAZE NEXTCAMPER** カスタム軽キャンピングカー 電気内装シンクが備った完璧な装備
- BLAZE EV DELIVERY** 軽便付免許・ビジネス 宅配業務へ最適！100km走れるEV三輪デリバリーカー
- サインクリエイト NINA** 1人乗りミニEV 軽便付免許・最高速度60km/h
- サインクリエイト NINA** 1人乗りミニEV 軽便付免許・最高速度60km/h
- HWE ELEMOMO-K** 100%EV軽トラック ビジネス・エコロジー・災害時にも頼もしい 航続距離100km走行可能 最大時速80km 200V充電
- SUZUKI セニアカー** 免許なし シニア 免許を返納しても行きたい場所へ行きたい時に、歩行者扱いの家庭用100Vコンセントで充電 最高速度6km/h

乗るもの、乗りかた、自由自在

グ事業の先駆けとして、本年8月から「道の駅」もつくる「新城」他、新城市内数カ所で電動アシスト自転車のシェアリングサービスの実証実験を開始します。道の駅に多くの観光客が訪れていながらも周辺施設への回遊が少ないという課題から生まれたもので、アクティビティとして電動アシスト自転車を導入することで、周囲の観光地を訪れる機会を創出することが目的です。

また、豊橋鉄道株式会社様と連携し、渥美線の主要駅周辺に電動アシスト自転車を常設し、地域住民の日常使いや観光向けサービスとして活用いただく計画を進めており、今年中の実施を目指しています。

例えば、豊橋駅に到着した観光客が蒲郡市や田原市の海を眺めながらサイクリングを楽しんだ後、当社のサービスステーションに返却して、公共交通機関で帰宅するということが可能です。既に関東圏では、このような仕組みが普及しており、観光面や実生活で浸透しており、すので、東三河や遠州でも根付かせていきたいと思っています。

こうした電動モビリティシェアの拡大により、快適な暮らしの実現と観光産業の発展が促され、地域経済の活性化の一助になれば幸いです。

移動と生活が融合した店舗から、新たな暮らし方を提案

——移動と生活を結びつけた取り組みはありますか。

大熊▼雑貨やアパレルなどの生活用品を扱う直営店舗「monoplace」を抜本的リニューアルし、本年6月にオープンしました。「新時代のくらし方創発基地」をコンセプトに、住宅設備や家具の陳列に加え、移動と住生活の結びつきを深める提案として、次世代型マイクロモビリティを紹介展示するコーナーも新設しました。住生活と移動のソリュー

